ひといき、木の息

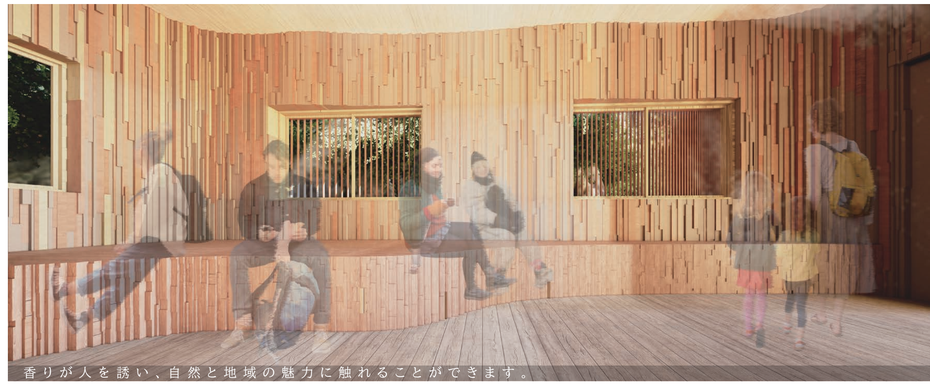
ふわっと香って、ふっと立ち止まる
また歩いて、また香る
そんな香りにつられて、ゆっくりひといき



さまざまな色と香りに包まれながら、ほっと一息。ここで心を整え、庭園の奥へと足を進める気持ちをそっと高めます。



森の香りに包まれた休憩スペースで手を洗い、心を落ち着かせます。



香りが人を誘い、自然と地域の魅力に触れることができます。

01 三景園のゆたかな風景 - 背景 -

三景園は、広島県のゆたかな自然景観である「山・里・海」をモチーフに、歩くことで次々と異なる風景に出会う庭園です。池や滝、竹林など、目で捉えることのできる風景だけでなく、聴覚・嗅覚・触覚を通して感じる、目には見えない風景も多様に存在しています。

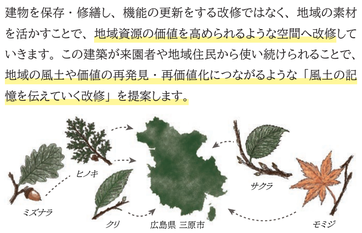
＜視覚で捉えられる風景＞



＜身体で感じる風景＞

02 風土の記憶を伝える改修 - 目標 -

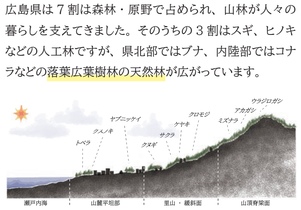
建物を保存・修繕し、機能の更新をする改修ではなく、地域の素材を活かすことで、地域資源の価値を高められるような空間へ改修していきます。この建築が来園者や地域住民から使い続けられることで、地域の風土や価値の再発見・再価値化につながるような「風土の記憶を伝えていく改修」を提案します。



03 地域に眠る素材に新たな価値を与える - 調査① -

■ 広島の風土を育む森林環境

広島県は７割は森林・原野で占められ、山林が人々の暮らしを支えてきました。そのうちの３割はスギ、ヒノキなどの人工林ですが、県北部ではブナ、内陸部ではコナラなどの落葉広葉樹林の天然林が広がっています。



■ 山に眠る未活用木質資源

山には、建築用材として利用される針葉樹以外の樹種として「雑木」が存在します。本提案では、雑木を「使う」ことで里山広葉樹林の新たな価値を生み出すだけでなく、持続可能な里山づくりに貢献します。

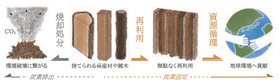


＜燃料として使用される雑木＞

▲ 三原市の木材共販所で販売される雑木
雑木は製紙用、バイオマス発電の燃料用のために購入される

■ 木の循環がもたらす持続可能性

建材として使用しづらい、丸みやひび割れのある県産材や、低い市場価値しか持たなかった三原市で伐採される雑木を使用することは地産地消の活性化になるだけでなく、炭素固定にもつながります。森林資源を無駄なく使用することで地域の資源循環と地球環境へと貢献する建築となることを目指します。

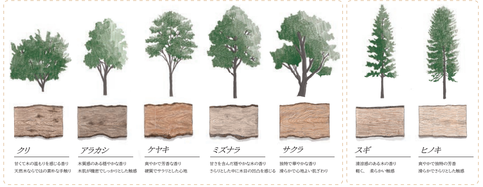


04 地域の木の香りでつくる空間 - 調査② -

■ 癒しと落ち着きを与える香りの空間

三景園では池や滝、竹林など、視覚を通して捉えられる豊かな風景から、広島の自然の魅力を感じることができます。私たちはそこに「香り」という新たな風景を加え、地域の木材を用いた五感で感じられるトイレ・休憩所を提案します。
木の香りに包まれた空間は、森林の中にいるような感覚を生み、訪れる人の心身をゆっくりと落ち着かせます。
ここで一息つきながら、木の香りを感じることが、庭園の奥に広がる新たな風景へと歩みを進めるきっかけとなります。

■ 三原市産材のさまざまな香り

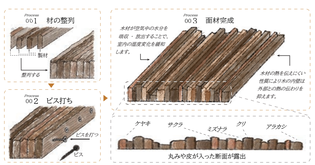


＜三原市で育つ樹種＞

05 木のカタマリの空間 - 提案 -

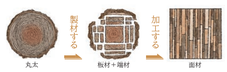
■ 雑木材、デットストック材を積層した壁

三原市で伐採される雑木（主に広葉樹）を製材し、それらを並べて穴をあけ、ビスを打ち込み面材を生み出す簡便な工法を使用します。さらに、針葉樹（ヒノキ・スギ）の製材時に生じるデッドストック材も材料として活用することで、地域の木材を無駄なく活かし、環境負荷の低減へ貢献します。



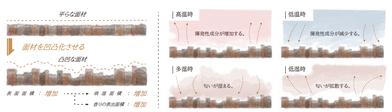
■ 雑木を丸々１本使い切る

多くの雑木を伐採して使うのではなく、雑木１本から取る量を増やすことで、廃棄量を削減することができます。



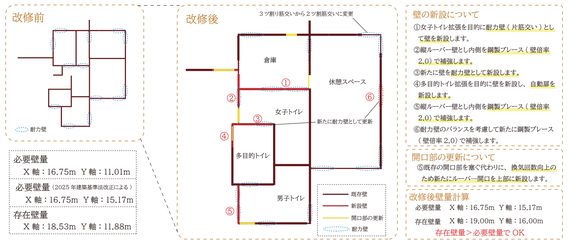
■ 香りの空間を作る

面材に凹凸をつけることで香りのよく出る小口面積を増やします。
温度や湿度の変化により、１日、１年と様々なスパンで香りが変化します。

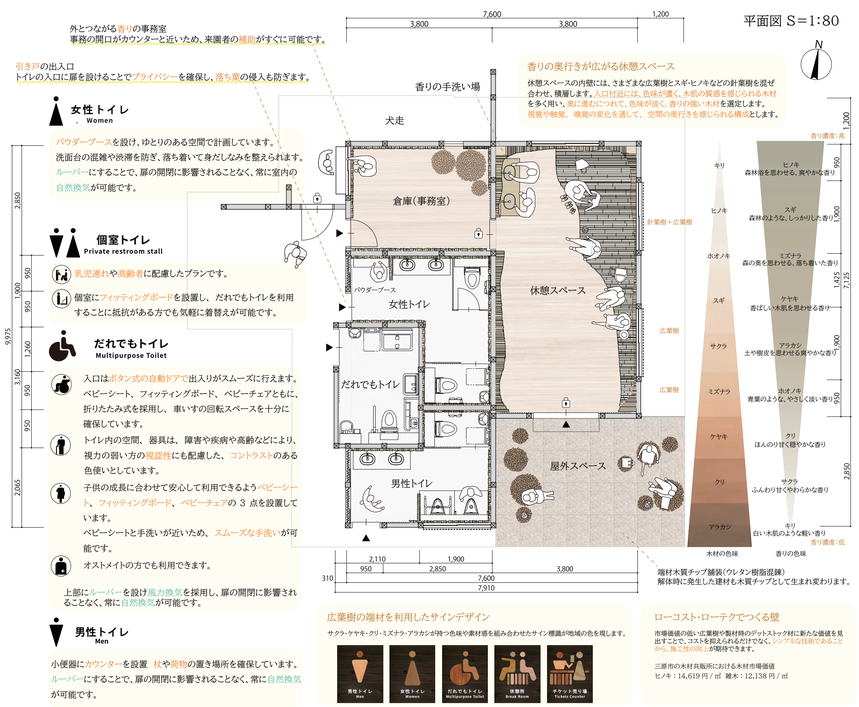


06 バランスを考慮した耐力壁の配置 - 検討 -

壁の撤去・新設は現状の壁量を確保しながら、必要な箇所に耐力壁を新設しました。

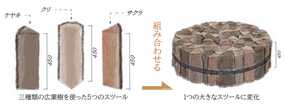


07 ゆとりのあるトイレ空間と、木の香りに包まれた落ち着きある休憩所 - 平面計画 -



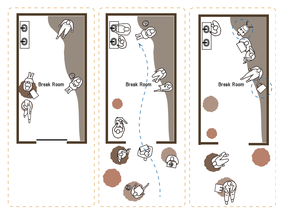
■ 端材を利用したガーデンファニチャー

製材過程で発生する三角形の端材を集め、布製のストラップで結束し固定した円形のベンチを提案します。簡単に制作でき、持ち運びやすいサイズ感とします。



■ 幅広い活動を受け入れる内部計画

休憩スペースの奥へと徐々に広がる腰掛スペースは座ったり、荷物を少し置いたり、寝そべったり、食事をしたりと、多様な活動を受け入れます。



■ 端材でつくる屋外空間

屋外スペースには、施工時に生じる雑木の端材をチップ化した木質チップ舗装を用います。クッション性に優れ、歩きやすく、透水能力があるため、地表面の温度上昇を抑えます。また、一部の端材は杭木として再利用し、施工時に生じる木材を余すことなく活用します。

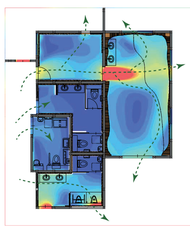


08 臭気を外部へ逃がす換気計画 - 環境計画 -

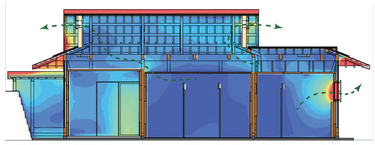
■ 風を取り込むルーバー壁

新設する外壁をルーバー壁とすることで、各トイレ内部に風が入り込みます。また、休憩室全体に風が循環し、香りが部屋に広がっていき、倉庫を開放することで、保管しているガーデンファニチャーの香りが休憩室に運ばれます。

解析条件
風向：西南西（夏季最頻風向）
風速：5.72m/s（地上 80m 地点）

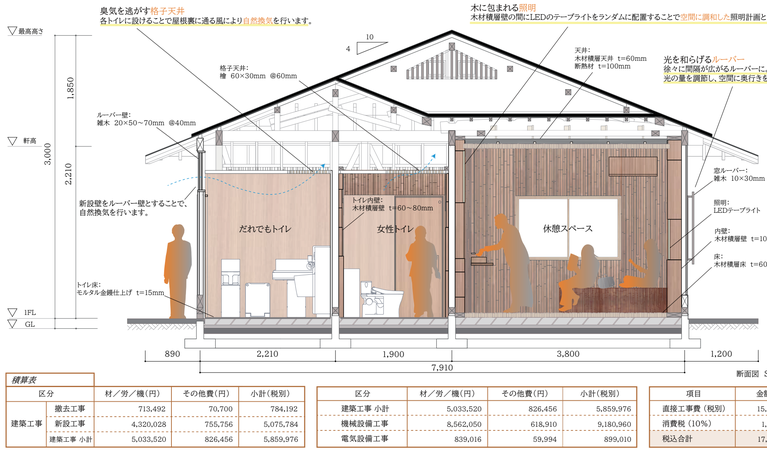


■ 妻側換気口を利用した風圧換気



既存の妻側換気口に着目し、各トイレの天井の一部を格子天井とすることで、風が屋根裏を通り、外に抜けていきます。女子トイレやだれでもトイレの奥まった場所も風の循環が生まれ、自然換気が行われます。

09 木の香りに包み込まれる空間 - 断面計画 -



断面図 S=1:50

積算表

区分		材／労／機（円）	その他費（円）	小計（税別）
建築工事	撤去工事	713,492	70,700	784,192
	新設工事	4,320,028	755,756	5,075,784
	建築工事 小計	5,033,520	826,456	5,859,976

区分	材／労／機（円）	その他費（円）	小計（税別）
建築工事 小計	5,033,520	826,456	5,859,976
機械設備工事	8,562,050	618,910	9,180,960
電気設備工事	839,016	59,994	899,010

項目	金額（円）
直接工事費（税別）	15,939,946
消費税（10%）	1,593,995
税込合計	17,533,941